

町議選 2月20日告示
2月25日投票

いくらなんでも

これでは認められない



町民センター追加工事

臨時議会でも否決

いくら何でも、これじゃあ

さきの12月議会で否決された町民センターの追加工事契約が26日の臨時議会でも否決となりました。この工事契約は、2億3千万円で発注したグラウンド整備の追加工事で議会の議決を経なければならぬものです。さらに、財務規則によれば、随

の役割ではないはず。ましてや今回のように町の条例や規則違反の疑いがあるにもかかわらず、議案を否決したのはけしからんと触れ回っている議員や町関係者がいたとすれば、その人物の見識が問われます。そのような案件であつても賛成するのが議員の責務なのでしようか。

グラウンド整備費4千万円

札者がいなければならぬのに、今回は1社のみでした。しかし町側は「これを議会にかけるのはいいねい」にやっています。この説明は「証だ」と説明していません。

問われるチェック機能

いま町民のあいだで議会のチェック機能のあり方についての関心がひろまっています。町が提案する議案に無条件で賛成するのが議員

ましてや、水戸ホーリーホックの練習場となるグラウンドの設備工事に町から2億3千万円が支出されましたが、今後、芝の管理費に町から年4千万円の支出が見込まれます。水戸ホーリーホックの負担は年5百万円です。こういう事業が、町の思うまま勝手に進められていくのでしようか。

【編集後記】
このコーナーを通じて4年間おつきあいいただき、ありがとうございます。遠いと思っていた議会や町政のことが身近に感じられるようになった」との感想は嬉しい限りです。
日本共産党は戦前、戦争反対、主権在民をとなえたため、当時の権力からすさまじい弾圧を受けました。それでも先輩たちは主張を変えませんでした。そのたたかいが、戦後日本の民主化に貢献したと考えています。同時に、共産党の進出を抑えようとする為政者によるすさまじい攻撃もありました。松川事件などの謀略やレッドパージ、イメージダウンを狙うさまざまな作戦も……その構図はいまも継続されています。また来期もおつきあいください。

ごあいさつ

私は、4年間すべての議会で一般質問をおこない、町民の願うことを町政に届けてきました。その結果を「新しろさと」で全町民にお知らせしてきました。「議会が身近になった」と喜ばれています。私の活動は、みなさんに支えられてこそできるものでした。こちらこそ、感謝申し上げます。ありがとうございました。

さて、安倍自公政権による医療・福祉への圧迫は度しがたいものがあります。安倍自公政権の6年間で、医療・福祉の予算は1・6兆円の大規模削減となりました。農林水産予算、地方交付税も削減され、地方の疲弊が加速されます。そういつたなか、住民の立場で真剣にがんばる決意をしているところです。よろしくお願いたします。 藤咲美美子

日本共産党城里町
後援会ニュース

2018年1月 No.45

発行：城里町那珂西 1546-3 森島 029(288)7648

城里町石塚 2394-28 藤咲 029(288)5979